

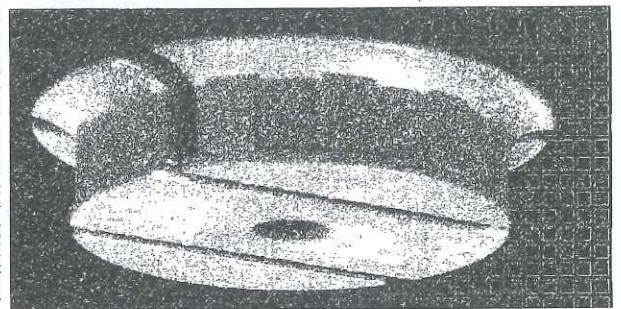
繰り返しの地震にも威力

累計2万1000棟超が導入

岡田工業

岡田工業(横浜市、O-Eに取り換えるだした地震が続いたとし岡田孝雄社長)は、住いで摩擦減震できる。でも、UFO-Eの住宅基礎鉄筋ユニット、基礎パッキンのように能を落とさず設計したコンクリート2次製品、基礎と土台の間に挿入住宅の強度を保つこと用溶接金網の製造販売で使用する。UFO-Eができる。同商品は高や日本国内の建築・建Eを設置することで、性能ながら、コストは設会社に向けて、設計土台の下で減震。10一般的な免震構造の10や現場の人材不足に對O個前後の「W摩擦分の1以下だ。設置にするソリューション業「が荷重を分担しなは専門的な知識が不要務を手掛ける。摩擦減がら少しずつ動いて歪で大工職人も簡単に施E(ユーフォーイー)摩擦・静止摩擦のWP工できる。この性能がE(ユーフォーイー)レキが作用し300評価され、これまでEを販売している。UFS800が減震する。ルター・工務店で累計O-Eはウォールスタ大型地震とともに、余2万1000棟以上にット対応認定製品とな震が続く長時間の地震導入された。

でも性能を発揮する。通常は住宅設計、建基礎パッキンをUF熊本地震のような連続設で制震・免震装置の



UFO-Eは土台の下で地震エネルギーを減震する絶縁工法

機能を実証するには実郎専務は「多くの制振物大の実験を行う。し材や免震装置があるな

かし、設計した住宅をウォールスタットで解析することで、UFO-Eの効果を示すことができる。同社は現在、九州を中心に西日本での販売が多い。今後は北海道や東北など北日本への販売を強化し、同地域での販売代理店を募集している。

か、UFO-Eは他のト工場、建材販売店で、なお今秋にもニュー装置に比べてコストがは営業の武器になるとタイプの発表も予定し低いので導入しやすい。工務店やプレカット屋うので活用してほしい」と話す。

(特集おわり)

日本の家を揺れから守る UFO-E

熊本地震から5年! UFO-Eは進化し続けます。

全国に21495棟の実績
※2021年1月末現在

639棟
452棟
2743棟
3032棟
3716棟

耐震等級3の建物におけるUFO-Eの有無の比較シミュレーション動画はこちら